

令和6年度 特別支援学級 i 組 学級経営方針

学級主任 泉崎 和恵

1 生徒数 1年9名（男子8名、女子1名）、2年8名（男子5名、女子3名）、
3年4名（男子3名、女子1名）、計21名

2 特別支援学級指導目標

- ① 基礎・基本の定着に努め、学力の向上を図る
- ② 未知の状況にも対応できる判断力、表現力を身に付ける
- ③ 基本的な生活習慣を身に付け、身辺自立の確立に努める
- ④ ちがいを認め合い、他者と共感・協働できる豊かな心の育成を目指す
- ⑤ 食や健康に対する知識とともに、基礎体力の向上に努め、健康な体をつくる

3 指導の重点

- ① 挨拶や返事がしっかりできるようにさせる
- ② 身辺のことを自分でできるようにさせる
- ③ ルールやマナーを守って生活できるようにさせる
- ④ 仲間を思いやり、お互いに助け合う心を育てる
- ⑤ 「生きる力」につながる知識を身に付けさせる
- ⑥ 根気や集中力を養い、自分の力を精一杯出せるように支援する
- ⑦ 自ら考え、行動する力を育てる
- ⑧ 健康を維持するために体力づくりに取り組ませる

4 学級経営の方策

- ① 生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、障害の状態や発達段階に応じたきめ細やかな指導を行う
- ② 教育活動を通して生徒を積極的に「見取り」、生徒の活動に対し「価値づけ」を行う
- ③ 教員、講師、介助員、理学療法士、言語聴覚士が連携、協力、情報共有し、チーム i としての対応を行う
- ④ 生徒の状況を的確に把握し、生徒指導主任、管理職への報告、連絡、相談を行う
- ⑤ 学校行事、総合的な学習の時間等を通して、通常学級の生徒と交流を推進する
- ⑥ 学級通信、連絡帳などを活用し、家庭との連携をとり、保護者との信頼関係の確立に努める

令和6年度 1年i組 学級経営方針

担任 本田 堅固・泉崎 和恵

1 生徒数 男子8名、女子1名 計9名

2 学級目標

「気持ちよく挨拶する」「時間を意識して行動する」「みんなで協力して、楽しく勉強する」

中学校の生活リズムに慣れることを最優先事項として活動する。登校してから下校まで、連絡帳や授業の準備など、時間内で動かなければいけない場面でもマイペースな生徒が多い。この現状を踏まえ、生徒自身も時間を意識して行動できるようにしたいという思いがあり、これを学級目標とした。

3 生徒の様子

- ・おおむね、教員の話聞いて指示通りに動くことができる。
- ・周りの動きに合わせて行動することが課題である。
- ・真面目に学習に取り組んでいる。

4 学級経営の重点事項

(1) 健康安全面

- ・家庭と連携し、睡眠や食事を十分に取るなど、規則正しい生活を送らせる。
- ・自分の物の管理や、身の回りの整理整頓を日頃から意識し、清潔な環境を維持させる。
- ・作業療法士と連携し、身体面での機能向上を図らせる。

(2) 生活指導面

- ・授業と休み時間の区別をつけ、授業に集中して取り組めるようにさせる。
- ・授業時間と休み時間、制限時間など、時間を意識して生活をさせる。

(3) 学習指導面

- ・「〇〇ができるようになる」等、具体的な目標を決めて、取り組ませる。
- ・自分のできること、自分でできることを増やしていかせる。
- ・自分のことに集中して取り組めるようにさせる。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

(1) 健康安全面

- ・学級通信、連絡帳を活用し、学校での様子を伝え、家庭との連携を図る。
- ・自分で整理整頓を意識できるように、毎週ロッカーや机を整理する時間を設ける。
- ・身体面、特に指の巧緻性を高めるトレーニングを行う。

(2) 生活指導面

- ・チャイムで始まり、チャイムで終わることを徹底し、優先順位を伝える。
- ・自分の課題について、授業内や個別の面談で伝える。認めて直そうと思える声かけをし、できたことはその都度ほめることで定着を図る。

(3) 学習指導面

- ・具体的な目標や、手順を板書するなど、視覚的に何をするのか分かりやすくする。
- ・優先順位を伝え、パーティションなどを使用し、集中できる環境づくりを行う。

令和6年度 2年i組 学級経営方針

担任 蕪木 睦

1 生徒数 男子5名 女子3名 計8名

2 学級目標

「自分の係・委員会の仕事に責任をもつ」

「1年生にやさしく教える」

2年生になり、立派な先輩になりたいと張り切っている生徒が多い。係や委員会の仕事に責任をもって取り組み、1年生にやさしく教えられる先輩になることを目標とした。

3 生徒の様子

中学校生活2年目となり、学校生活の流れを理解して行動できている。今年度変更になった点についても理解し、柔軟に対応できるようになっている。係や委員会の仕事にもそれぞれ責任をもって取り組むことができている。それぞれの思いや考えを言葉で表現することが、やや難しい。

4 学級経営の重点事項

(1) 健康安全面

- ・家庭と連携し、睡眠や食事を十分に取るなど、規則正しい生活を送る支援をする。
- ・自分の物の管理や、身の回りの整理整頓を日頃から意識し、清潔な環境を維持する。
- ・理学療法士と連携し、身体面での機能向上を図る。

(2) 生活指導面

- ・自分の課題を理解し、認め、改善しながら生活を送る支援をする。
- ・授業時間と休み時間、制限時間など、時間を意識して生活を送る支援をする。
- ・来年には最上級生となることを考え、特に、1年生への声かけや手助けをできるよう支援する。

(3) 学習指導面

- ・授業に主体的に取り組む態度を育てる。
- ・自分のできること、自分でできることを増やしていけるよう支援する。
- ・職場体験を見通して、進路について考える機会を設ける。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

(1) 健康安全面

- ・連絡帳や保護者会などの場面で、生徒の様子を伝え合い、家庭との連携を図る。
- ・教室の整理整頓を生徒とともに行き、生徒が自主的に行動できるよう促す。
- ・身体面、特に指の巧緻性を高めるトレーニングを行っていく。

(2) 生活指導面

- ・失敗から学ぶこと、次につなげていくことが大切であることを伝え、どうしたら良いかを

考える時間をつくる。

- ・教室の掲示物を整理し、視覚的に理解しやすい環境作りを行う。
- ・3年生の良いところを見て学び、真似ることから始め、1年生をサポートしていただけるよう支援する。

(3) 学習指導面

- ・具体的な目標や、手順を板書するなど、視覚的に何をするのか分かりやすくする。
- ・自分から行動したことを称賛し、生徒のやってみたいという姿勢を引き出す。
- ・生徒の身近にある仕事の調べ学習から始め、自分の進路を考えるきっかけを作っていく。
また、委員会活動や係活動を通じて仕事への責任感を育てていく。

令和6年度 3年i組 学級経営方針

杉並区立井草中学校 特別支援学級 i 組
3年 i 組 担任 尾方 駿成

1 生徒数

男子3名 女子1名 計4名

2 学級目標

- (1) 自分から行動する。
- (2) 後輩に呼びかけをする。
- (3) 最後の一年を思いきり楽しむ。

最上級生としての自覚をもち、まずは自分のなすべきことを人から言われる前に行う。さらに、後輩に対しても呼びかけを行い、先輩としてクラスを導いていきたいという思いが込められた学級目標となった。そして、3年生にとっては中学校生活最後の一年となるため、やり残すことなく学校生活を楽しんでいきたいという思いも込めた。

3 学級の実態

- (1) 遅刻や欠席、早退はほとんどなく、出席率は良好である。
- (2) ほとんどの生徒に、学校のきまりや、i組のルールを守ろうとする姿勢がみられる。
- (3) ほとんどの生徒に、教員の話をよく聞き、言われた通りに動こうとする姿勢がみられる。
- (4) ほとんどの生徒が真面目に授業を受けることができている。

4 学級経営の重点事項

- (1) 社会生活能力やコミュニケーションスキルを向上させる。
- (2) 授業に主体的に参加できるようにさせる。
- (3) 苦手なことを克服させ、できることを増やさせる。
- (4) キャリアプランの実現に向け、自分自身の進路について考えさせる。

5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 総合や道徳、作業などのキャリアに直結する授業で社会生活能力やコミュニケーションスキルの向上に努める。
- (2) 主体的に学べるよう、発問やグループワーク、体験学習を積極的に行う。
- (3) それぞれが苦手なことに対して、個別に課題を与え、苦手なことをできるようにする。
- (4) 生徒と進路についての話し合いを深め、それぞれの進路希望を把握し、実現に向けて学習サポートや、社会性の向上に努める。